

# 自然エネルギー100%を 実現した大学

## 大学がサステナビリティに果たす役割

日時: 2019年7月16日(火) 18:30~20:00

場所: 立教大学池袋キャンパス

本館2階1203教室

定員  
50名

気候変動対策は最重要な今日的課題であり、今世紀中頃までに人間由来のCO<sub>2</sub>をゼロにすべく国際的な取組みが始まっている中、千葉商科大学では、全学体制で省エネルギー、創エネルギーの活動を実施し、自然エネルギー100%の実現を提唱する世界的イニシアティブ「自然エネルギー100%プラットフォーム」により、国内の大学として初めて、自らの使う電力に相当する自然エネルギー発電を行ったと確認され、高く評価されました。また、同大学では教育・研究・運営面にSDGs(国連持続可能な開発目標)を導入しています。



キャンパスマップはこちら



### 原科幸彦

千葉商科大学学長。専門は社会工学。主な研究テーマはインパクト・アセスメントの制度と方法論、都市・地域における計画・政策の合意形成、国際協力における環境社会配慮。これまでに、環境庁国立公害研究所主任研究員、マサチューセッツ工科大学客員研究員、ロンドン大学客員教授、スイス連邦工科大学客員教授、東京工業大学工学部教授、同大学院総合理工学研究科研究科長などを歴任。2017年3月より現職。国際影響評価学会の最高賞であるローズ・ハーマン賞の受賞をはじめとして、多くの賞を受賞している。

### 申込先

下記メールアドレスに  
件名「自然エネルギー」と明記し、氏名、フリガナをご記入の上お申し込みください。

[esdrc@rikkyo.ac.jp](mailto:esdrc@rikkyo.ac.jp)

主催: 立教大学ESD研究所

後援: ESD活動支援センター、関東地方ESD活動支援センター、NPO法人持続可能な開発のための教育推進会議(ESD-J)  
公益社団法人日本環境教育フォーラム(JEEF)

デザイン: nao kato